

市政資料館だより vol.9

令和 6 年(2024)3 月

編集発行 名古屋市市政資料館

目次

- ガイドツアー／資料館カード／建物の維持管理：p 1～2 ○クイズ・謎解き：p 3
○目玉企画／その他令和 5 年度に行われた展示・イベント／資料を用いた名古屋市政の紹介 p 3～7
○市政資料館の仕事紹介／閲覧室だより：p 7 ○お知らせ：p 8

◆◆◆ガイドツアーに力を入れました！◆◆◆

建設から今年度で 101 年を経た資料館の建物。ネオ・バロック様式が特徴的なこの建物の魅力をより多くの人に知っていただき、次の 100 年につなぐ取組として建物のガイドツアーに力を入れました。



第 2 回建物ガイドツアーの様子
(令和 5 年 10 月実施)

＜＜令和 5 年度のガイドツアー＞＞

タイトル	実施日	参加者数	備 考
建物ガイドツアー ようこそ、 建物百年の旅へ	6 月 21 日 (水)	約 300 名	事前申込不要
	10 月 18 日 (水)	45 名 (申込 163 名)	事前申込・抽選 (定員：50 名)
	12 月 20 日 (水)	39 名 (申込 168 名)	
親子ガイドツアー たてもの探検隊	8 月 9 日 (水)	14 組 42 名 (申込 46 組 130 名)	事前申込・抽選 (定員：20 組程度)
	1 月 27 日 (土)	15 組 44 名 (申込 26 組 79 名)	
控訴院・裁判所 タイムトラベルツアー	2 月 22 日 (木)	24 名 (申込約 100 名)	事前申込・抽選 (定員：30 名) ※名古屋高等裁判所 と共催
水曜日 ちょこっとガイド	7 月～ 原則として毎週水曜	延べ 58 名 (21 回実施) (令和 6 年 2 月末現在)	事前申込不要 毎回先着 10 名程度

ガイドツアーについて

●令和4年9月に実施した「名古屋控訴院 100 年祭 100 周年特別ガイドツアー」が大変好評であったため、今年度から新たにガイドツアーを定例実施することとしました。

●6月に実施した第1回の建物ガイドツアーは想定を上回る300名以上の方が集まり、やむなく自由見学とさせていただきます。この反省を踏まえて、2回目以降は事前申込み制に変更した結果、いずれの回も定員の3倍近いお申込みがあり、抽選によって参加者を決定しました。ツアー当日は、当館1階の中庭や3階のバルコニーやテラスなど通常は公開していない場所へもご案内して、楽しく見学していただきました。

●また、たくさんの方にご参加いただけたという経験から、当館の建物に興味をもってくださる方が潜在的にたくさんいらっしゃる事が改めてわかり、7月からは原則毎週水曜日に予約不要で職員が建物の見所を案内する「水曜日ちょこっとガイド」を実施し、当館の建物に興味をもって立ち寄られた方に好評をいただいています。

●そして、夏休みなどの時期に中学生以下のお子さんと保護者の方を対象とした「親子ガイドツアー『たてもの探検隊』」を実施しました。こちらもアンケートの結果では、大人も子どももほとんどの方が「大変良い」または「良い」と答えていただき、みなさんに満足していただけましたようです。



参加者にお配りした
ツアーノート「時間旅行
の記」と「探検日誌」

資料館カード

資料館の建物の魅力や隠されたトリビアをもっとたくさんの人知ってもらいたいという思いを込めて、今年度から新たに「資料館カード」を作製し、6月から毎月100枚限定で配布しました。カードの表は資料館の建物やじゅう器備品などの写真、裏にはちょっとしたトリビアを掲載してあります。おおむね好評で、どのカードも発行日から2～3週間で配布終了となっています。さらに6月～3月の全10種類のカードを全て集めた方には、資料館の立面図、断面図をレーザーで焼き付けた木製プレートをプレゼントしました。間伐材でつくられているこのプレート、木の香りがとっても良くて、受け取った方から「記念になるよ。」と喜んでいただきました。



木製プレート



建物の維持管理

・防災訓練を行いました

令和6年1月18日(木)には、当館職員による防災訓練及び消防訓練を行いました。

消防訓練については第70回文化財防火デーに合わせ、東消防署と合同で行いました。

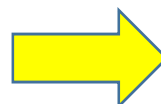


・設備の更新を行いました

設備の老朽化に伴い、当館では様々な設備の更新を進めています。

令和5年度は、電気親時計、自家発電機用冷却水減圧水槽及び書庫除湿機の取替工事を行いました。

(右の写真は電気親時計。館内各所の時計を制御する役割があります。)



クイズ・謎解き

クイズラリー「この場所ど〜こだ?！」 会期:令和5年4月1日(土) ~6月30日(金)

昨年度に引き続き、館内をまわってリーフレットに示された写真の場所を探すクイズラリーを実施しました。

なぞとき展示「おりがみの暗号」 上級編「なぞとき小部屋2 ~隠された手紙~」

会期:令和5年4月28日(金) ~5月28日(日) 会場:第1 一般展示室

変体がなの暗号を解くなぞとき展示を行いました。3回目となる今年度は、達成者に特製うちわ(200枚限定、終了後は絵葉書)をプレゼント。また、展示室中央には上級編のなぞとき小部屋2も設置し、変体がなで書かれた「隠された手紙」を読んで“ある子”を探すミッションにも挑戦してもらいました。



謎とき企画 第1弾「~100年の時を超えて~建物に秘められたメッセージを読み解け」リバイバル

会期:令和5年7月1日(土)~8月8日(火) 参加者:197名

昨年度実施した謎とき企画第1弾のリバイバルを、部数限定で実施しました。

謎とき企画 第2弾「タイムトラベラー 或る判事からの挑戦~100年の時をさかのぼる謎を解け~」

会期:令和5年9月1日(金)~令和6年3月31日(日)【4月以降も延長】参加者:延べ 2,410人(令和6年2月末現在)

ストーリー

今年度の新作謎ときは「タイムトラベラー 或る判事からの挑戦」!

記念品の缶バッジ

100年前の法廷からやってきた判事をもとの世界に戻すためには、判事の持ってきた黒革の手帳に隠された「暗号」を手に入れなくてはならないらしい。さあ、判事を助けるために、謎ときに挑戦!!



令和6年2月末現在で2,410人もの方に挑戦していただき、大盛況だった謎とき。挑戦された方には記念品の缶バッジもプレゼントさせていただきました。また、ご協力いただいたアンケートで「謎ときの感想」をお聞きしたところ、8割を超える方が「大変良い」または「良い」とお答えいただき、たくさんの方々に楽しんでいただきました。さらに昨年度実施の第1弾「100年の時を超えて」に挑戦して、今回もご参加いただいた方には当館特製の木製プレートもプレゼントさせていただきました。ご好評につき4月2日(火)以降も期間延長して実施します。



謎とき手帳

目玉企画

企画展「お米が高くて買えません!—公文書で読む大正名古屋の米騒動—」

会期:令和5年12月22日(金)~令和6年1月19日(金) 会場:第2・3 一般展示室、第4 一般展示室(1月5日~)



大正7年(1918)に名古屋で起きた米騒動について、当館所蔵の資料を紐解きながら紹介する展示を行いました。

名古屋の米騒動は、大正7年8月9日に米価の高騰に不満を溜めた群衆が鶴舞公園へ集うようになったことから始まります。荒れる群衆を前に緊急対策を迫られた市は、富裕層から寄附を募り、約2ヶ月半の間、米の廉売(安売り)を行いました。

公文書を読んでいくと、当時の不穏な状況や対策に追われる役所の緊迫感が伝わってきます。展示から、平成の米騒動やコロナ禍での緊急対応などに思いを馳せる方も多く、「現代でも決して無関係とは思えません。」との感想を寄せる方もいらっしゃいました。

また、1月5日開設のお正月特別企画「大正時代の昔あそび」コーナーでは、メンコやけん玉の体験を通して、ちょっとしたコツや工夫で楽しみが広がる手遊びの魅力を感じていただけました。



↑「大正時代の昔あそび」



★展示内容の一部は名古屋市公式 note でも紹介しています。

名古屋市公式 note
QRコード

企画展「春興～尾張名所図会に見る名古屋の春の名所～」

会期：令和6年3月14日(木)～22日(金) 会場：第4一般展示室

江戸時代の尾張藩の名所の様子を紹介した『尾張名所図会』についての展示を行いました。『尾張名所図会』は、「前編」、「後編」、「附録編」からなっており、当館が所有していなかった「附録編」が昨年寄贈されたことにより全て揃ったことを受けて、『尾張名所図会』にちなんだ展示を行うことになりました。なお、今回は展示の開催時期が3月であり、桜の開花時期及び春の行楽シーズンに重なることもあって、『尾張名所図会』の内容を単に紹介するのではなく、桜や春の行楽に関する内容も盛り込みました。

江戸時代の名古屋市内の桜の名所や春の行楽地について『尾張名所図会』内のイラストと現代の写真と比較する展示を行ったほか、当館敷地内の「さくら見どころマップ」の展示もしました。



その他令和5年度に行われた展示・イベント

夏休み子ども企画展 会期：令和5年7月21日(金)～8月31日(木) 会場：第2・3・4一般展示室



楽しい夏休みの期間中、当館では、主に子どもたち向けに「名古屋市のうつりかわり」を分かりやすく学ぶ企画展示を毎年開催しています。

明治22年(1889)の市の誕生から現在まで、変化してきた街並みや人々の生活の様子を、写真や地図など100枚余りのパネルで紹介しました。市域が徐々に広がり、駅や港が整備されて栄えてきた戦前の様子や、戦後、道路・交通網の整備やごみ処理等、都市特有の課題に積極的に取り組んできた名古屋の姿を追うことができるよう工夫しました。見学者の方たちからは、「戦前から名古屋の近くにゴルフ場があったとは。」「空襲で名古屋城は一度燃えてしまったんだ。」などの声が聞かれました。

なお、夏休みの学習帳「夏の生活」(小学6年)には、当館と企画展示について紹介されています。

名古屋まつり展 会期：令和5年10月14日(土)～令和5年10月22日(日) 会場：第1一般展示室

第69回名古屋まつりの会場行事として、当館では名古屋まつり展を開催しました。今回はポスター展示と過去の名古屋まつりの映像の上映に加えて、かつて名古屋市のメインストリートであり、戦前の東照宮祭及び第5回までの名古屋まつりでも山車揃いのコースであった本町通と山車揃いのつながりを紹介した「特別展 山車揃と本町通」を実施しました。また、ポスターの展示の仕方についても、今回は3階西側廊下での展示を止め、一部屋にまとめました。展示し切れないポスターはモニターでスライド上映するようにしました。



金城学院管弦楽部・グリークラブ演奏会 ～金城生が奏でる文化の音色～

日時:令和5年11月3日(金) (管弦楽部 14 時～、グリークラブ 14 時 45 分～) 会場:中央階段室

金城学院中学校・高等学校管弦楽部、グリークラブの演奏会が開催されました。両クラブとも素晴らしい演奏・歌声を披露し、拍手が鳴りやみませんでした。



重要文化財で聴く菊里高等学校音楽科オータムコンサート ～管弦楽の響き～

日時:令和5年11月4日(土) 14 時～15 時 会場:中央階段室

菊里高等学校音楽科の生徒さんによるコンサートが開催されました。管弦楽の美しい音色が中央階段室に響き渡りました。また、アンコール企画では、「紅葉」の合唱が行われ、会場が一体となりました。



桜台高校ファッション文化科ファッションショー「Focus」

日時:令和5年11月5日(日) 10 時 30 分～11 時 会場:中央階段室

桜台高等学校ファッション文化科の生徒さんによる、ファッションショーが開催されました。授業で製作した個性豊かで華やかな衣装を身にまとい、音楽・ナレーションに合わせてランウェイを歩きました。



冬の子ども企画展 会期:令和6年1月5日(金)～2月29日(木) 会場:第1・5一般展示室

令和2年度から施行された小学校学習指導要領の第3学年社会科の学習に、「市の様子のおもしろいこと」についての内容が新しく設けられたことを踏まえて開催を始めた企画展示です。パネル形式の展示で、「名古屋市の歴史編」と「テーマ学習編」に分けて学習できるようにしています。

「名古屋市の歴史編」では、市域の拡張と共に移り変わる名古屋の姿が分かるようにしました。「テーマ学習編」では、「地下鉄や高速道路のおもしろいこと」「土地の利用のおもしろいこと」などのテーマごとに「学習のポイント」を提示し、見学者自身で考えることができるように工夫しました。本年度は、市内12校から見学申込みがありました。

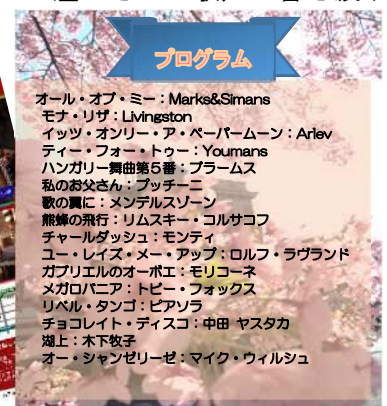


デリバリーコンサート

日時:令和6年2月11日(日) 14 時～15 時 会場:中央階段室 参加者数:約115名

2月には、名古屋市文化振興事業団によるデリバリーコンサートが、中央階段室で開催されました。

毎年、資料館でのコンサートを心待ちにしているという声もよく聞かれます。今回は、Ayano with YYK の皆さんの出演によるコンサート。中央階段室のレトロな雰囲気の中、Ayano さんの澄みきった歌声が響き渡り、間近に迫る春の訪れを告げてくれているようでした。



スプリングコンサート

日時:令和6年3月16日(土) 13時30分～14時30分 会場:中央階段室 参加者数:約150名

3月のスプリングコンサートは、「～悠久の館に響く、日本の二胡～」と題し、

二胡演奏家のチャン・ビンさんをお招きして、二胡の音色をゆっくりとお楽しみいただくコンサートを企画しました。中央階段室のステンドグラス前から流れ出る哀愁を帯びた柔らかな二胡の調べにしばし時を忘れ、たくさんの皆さんから、「とても素敵だったよ。」「また、やってくださいね。」などの感想をいただきました。



資料を用いた名古屋市政の紹介

かつて存在した「名古屋市警察」

あまり知られていませんが、昭和23年(1948)から昭和30年(1955)まで、名古屋市は独自に警察組織を持っていました。以下『名古屋市警察史』等から調査した結果を紹介します。

●創設の経緯

戦時中までの警察は中央集権的・威圧的な存在であったため、戦後にGHQは日本に対し警察の民主化を迫りました。

その結果、一定規模以上の自治体には民間人で構成された公安委員会を頂点とする「自治体警察」が創設されることとなり、名古屋市においては「名古屋市警察」が発足しました。

●民主化の要・公安委員会

公安委員会は直接警察を指揮したわけではありませんが、自治体警察のトップである警察長を任命する権限を有し、運営の観点から管理する役割を果たしました。

委員については、市長が議会の同意を得て任命することとなっており、初代の委員は市会の長老であった富田彦吉、実業界から大同製鋼の竹内保資、報道界から中部日本新聞の杉山虎之助が任命されました。

●名古屋市警察の活動

名古屋市警察はパトロールカー導入による巡察強化・緊急通報制度の創設を図るほか、交通安全会結成などにより市民との協力体制を構築するといった取り組みで「市民のための警察」の実現に尽力しました。

また、名古屋市発行の『広聴月報 1 1955』には「親切な巡察にお礼がしたいから探してほしい。」という市民の声がみられ、実際に名古屋市警察が市民にとって親しみがある存在であったことがうかがわれます。

対応能力についても、大須事件※のような全国屈指の大規模騒ぎよう事件の鎮圧を成し遂げるといった実績を残しており、戦後混乱期の大都市警察に相応しいレベルにありました。



名古屋市警察の庁舎(『名古屋市警察史』より)



上から富田彦吉、竹内保資、杉山虎之助(1947.12.20 中部日本新聞より) →

※大須事件:昭和27年に組織労働者等約1,500人のデモ隊が大須付近で警官隊と衝突した事件。デモ直前に別動隊が東区の税務署を襲撃し警察戦力の分散を図るなど、計画的な犯行であったとされる。

●名古屋市警察の廃止

しかし、朝鮮戦争が勃発するなど東アジア情勢が荒れ、日本でもさらなる混乱が予想される時代に入り、自治体警察は行政執行上の非効率や対応能力の限界等の理由により廃止されることとなりました。

名古屋市は他の大都市と協力して自治体警察廃止に抵抗するも、愛知県警察に吸収するかたちで廃止されました。

現在、名古屋市警察の面影は、愛知県警察の下部組織である「名古屋市警察部」、愛知県公安委員会の委員（5人）のうち2人は名古屋市が推薦するという制度に残っています。

《主な参考資料》『名古屋市警察史』（名古屋市、1960年7月発行）、『愛知県警察史 第三巻』（愛知県警察史編集委員会、1975年2月発行）、『大都市制度史』（大都市制度史編さん委員会、1984年3月発行）

★全て当館閲覧室でご覧いただけます。

市政資料館の仕事紹介

・書庫の環境整備

当館では貴重な資料を保存するために、書庫の環境整備を行っています。その取り組みを一部ご紹介させていただきます。

① 温度・湿度管理

資料を良好な状態で保存するためには、適切な温度・湿度の管理が必要です。例えば温度や湿度が高すぎると、紙にカビが発生して資料が汚されるといった事態が発生してしまいます。

当館では日々書庫の温度・湿度を記録し、異常な数値が見られた空調機器については調整・更新を行っています。



② 清掃

ほこり等の汚れは有害生物のエサにもなってしまうため、書庫の清掃は重要です。今まで不定期に実施していましたが、今年度から第3木曜日の休館日に職員全員による書庫等の清掃を定期的に行うこととしました。

閲覧室だより

・令和5年度の新規公開資料（全部利用制限除く）

公文書 令和5年8月 公開文書 82簿冊

令和6年3月 公開文書 44簿冊

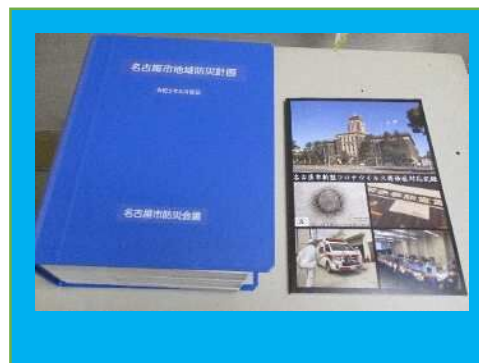
当館では事案の完結した公文書のうち、歴史的価値があると認められるものを収集しています。そして、完結から30年経過した公文書を整理後に公開しています。令和5年度は、8月と3月に公文書の公開を行いました。令和5年8月の公開文書の内訳は、横吹・藤塚・烏森東部の土地区画整理事業に関する公文書と、名古屋市能楽堂開設に関する公文書等となっており、令和6年3月の公開文書は、道路の用地取得に関する公文書が多く占めています。

行政資料（刊行物・パンフレット）

令和5年4月～令和6年2月の公開資料数 354冊

令和5年度に公開した行政資料については、「名古屋市地域防災計画 令和5年6月修正」といった市の方針や計画に関する資料や、その他市の事業の各種報告書で直近に収受したものなどを公開しました。

特に「名古屋市新型コロナウイルス感染症対応記録」は、感染第1波から5類感染症への移行までの期間を中心とした市の対応を記録したものであり、今後パンデミックに関する研究等において役立つと考えられます。



・資料の寄贈を受けました

令和5年度に4件の資料をご寄贈いただきました。

そのうち、「名古屋北部の変遷について 江戸後期より現代まで」は古地図研究会の皆様が多大な労力をかけて名古屋市北部の変遷（江戸時代の村絵図からの地名変遷など）を調査した結果が記されており、調査には当館所蔵の地籍図も利用されています。

お知らせ

・館内のご利用について

令和6年3月1日現在の主なご利用案内は以下のとおりです。

詳しくは市政資料館公式ウェブサイト、または受付窓口(電話 052-953-0051)までお問い合わせください。

1 貸室利用（集会室）

予約は、利用日が属する月の6か月前の月の最初の開館日午前9時から一斉受付開始。

2 貸室利用（一般展示室）

予約は、利用日が属する月の6か月前の月の最初の開館日午前9時から一斉受付開始。

3 結婚式

予約は、挙式日が属する月の6か月前の月の最初の開館日午前10時から一斉受付開始。利用時間は、土・日曜日、祝休日の午前9時30分から正午まで、または午後1時30分から午後4時まで。利用組数は、1日1組。

4 撮影（※注意事項等について市政資料館公式ウェブサイトをご確認ください）

平日：予約不要の当日受付。利用時間は、午前9時から午後4時30分まで。利用組数の制限なし。

土・日曜日、祝休日：予約は、撮影日が属する月の2か月前の月の最初の開館日午後2時から一斉受付開始。

利用時間は、午前9時から正午まで、または午後1時から午後4時30分まで。利用組数は、午前2組、午後2組。

・3D 市政資料館バーチャルツアーのご案内

市政資料館の館内を自由に歩き回ることができる『3D 市政資料館バーチャルツアー』でリモート見学してみませんか。見どころ紹介も盛りだくさん！

市政資料館公式ウェブサイトよりご利用いただけます。



3D バーチャルツアー

・X（旧ツイッター）で最新情報をお届けします

集会室・一般展示室の空室状況をはじめ、企画展やイベントのお知らせ、開館状況などの情報があります。是非ご利用ください！



X（旧ツイッター）

利用案内



開館時間 午前9時～午後5時 入館料 無料

休館日 月曜日（休日の場合はその直後の平日）

毎月第3木曜日（休日の場合は第4木曜日）

12月29日～1月3日

交通案内 地下鉄名城線「名古屋城」下車、東へ徒歩8分

名鉄瀬戸線「東大手」下車、南へ徒歩5分

市バス・メーグル「市政資料館南」下車、北へ徒歩5分

市バス・名鉄バス「清水口」下車、南西へ徒歩8分

市バス・名鉄バス「市役所」下車、東へ徒歩8分

所在地 名古屋市東区白壁一丁目3番地

Tel 052-953-0051 Fax 052-953-4398

ご来館の際は、公共交通機関をご利用ください。